

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		F 審議会・協議会等運営事業			
担当部署名		シート番号		214-03	
西区役所		評価責任者(課長名)		有澤	
局		企画総務		課	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	区域の特色を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市区民評議会条例、堺市区民評議会条例施行条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	<p>これまで、地域まちづくり支援事業の実施や区民まちづくり会議の設置、また住民に身近な行政組織である区役所の機能強化など、都市内分権を推進し、補完性の原則に基づく住民自治の促進に取り組んできた。これらの取組により、区民の視点からの課題の抽出や認識の共有ができ、区民自らが区と協働で事業を実施するなど、区民参加・区民協働という意識が高まってきたと考えている。</p> <p>今後は、『区民参加・区民協働』から、『区民の行政への参画』へとステージを拡大する必要があり、そのための新たな仕組みとして区民評議会を設置したもの。</p>				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	区民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	各区の特性に応じた具体的な施策等についての調査審議や課題解決の優先順位について協議を行う区民評議会を各区に設置することで、一層の区役所機能強化と区民の行政への積極的な参画を図り、もって本市における都市内分権を推進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>区における施策、事業等に係る総合的な計画の策定及び改定に関する事項、区民の生活に密接な関係のある課題を解決するための施策、事業等の方向性及び方針に関する事項及び区域内における地域振興に係る補助金の交付の対象となる事業の選定に関する事項について、調査審議を行う区民評議会を運営する。</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

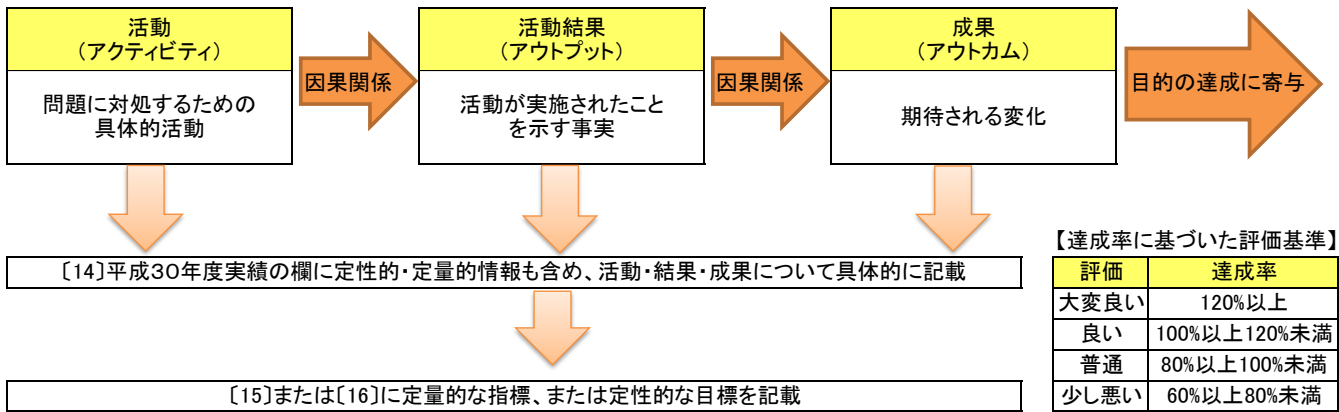
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	741	790	870	1,436	
主な事業費内訳	報酬	千円	480	500	521	786
	役務費	千円	215	225	258	435
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
その他()	千円					
一般財源	千円	741	790	870	1,436	
12 人件費 (b)	千円	5,910	5,910	5,910	5,613	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	6,651	6,700	6,780	7,049	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	区民評議会事業(西区)	シート番号	214-03
-------	-------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	審議会を年間5回開催し、審議事項についての議論を重ね、中間報告を行った。平成29年度の答申にもとづき、新規の事業を2事業実施した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		審議会開催数	回	目標値	6	5	5	5
				実績値	6	5	5	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		全体会及び部会の開催回数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		答申・提言を反映した施策・事業の実施数	事業	目標値	1	1	1	1
				実績値	1	6	2	
達成率				100%	600%	200%		
評価	良い			大変良い	大変良い			
算出方法・設定根拠など		新規・拡充事業を算出						

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	審議会開催数は、委員と日程調整を行い、諮問事項に関連するを提供し、目標とする年間5回の実施を達成できた。 答申・提言を反映した施策・事業の実施数は、「若者の力を活かしたまちづくり」についての答申に基づき、「若者の力を活かしたまちづくり企画コンテスト」事業及び、「地域活動支援及び情報発信支援」事業を実現することができた。今後、継続的に、若者の力を活かしていけるように、さらなる若者の参画が課題となる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。